

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	市民環境講座事業			会計	款	項目	大専	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	環境政策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	大島 尚文			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	環境に対する意識の高揚と行動の実践を図る。
事業内容	流山市地球温暖化対策実行計画の推進を図るため、一般市民を対象とした公開講座を委託により実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度から自治会などに出向いて講義を行う出前講座を開始（平成28年度に終了）。平成23年3月の東日本大震災を境に特に省エネルギーの分野に感心が高まり、また平成28年11月に発効したパリ協定とこれに伴う国の温暖化対策計画の策定により市町村にもさらなる取組みが求められている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	市民環境講座開催回数	4	4	4	回	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

平成30年度は、JAXAと国立環境研究所から講師を招き講演会を1回行い、子供向けの工作教室を2回行った他、最先端の環境技術を体験する国立環境研究所・JAXAの見学会を行った。出前講座に関しては、平成29年度より委託から外し、団体における自主事業の位置付けとした。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,897,500	2,851,600	2,815,600
事業費(b)(円)	838,000	838,000	838,000
うち一般財源	838,000	838,000	838,000
職員給与と費(c)(円)	2,059,500	2,013,600	1,977,600
人役・職員(人)	0.30	0.30	0.30
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	引き続き新規の一般市民が参加しやすいテーマの講座を開催し具体的な取り組みを啓発していく。	③取組における課題(Check)	環境をテーマとした講演会は集客が課題となる。
②H30に実施した取組(Do)	対象の裾野を広げるため親子向けの講演会や企画を充実させ、実験等の体験型の企画を増やすことで波及を図った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	第4回目の市民環境講座（大規模分）について、早めに打ち合わせを行い方向性や内容を決定する。併せて今後の環境講座のあり方について打ち合わせを行う。